

EZ-WIN競馬予想新聞				24.2.4 (日) 京都11R G3きさらぎ賞 芝1800m外C 3歳 馬齢 15:35															指数				
間隔	総合評価点数	予想印	馬番	馬名	性齢	負担重量	予想人気	相対指数	トレンド血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	外回り1800勝利	マイニング	対戦型
2	31		1	栗)ピエナオルフェ	牡3	57	12	B				10,1	13,5	13,2	7	208	0	川島信	荒川			12	12
5	47	★	2	栗)インザモーメント	牡3	57	10	B	△		A	6,8	5,1	5,2	20	124	5	鮫島克	田中克		B	1	3
4	34	◎	3	栗)ウォーターリヒト	牡3	57	7	A				18,1	3,3	8,2	8	104	4	幸英明	河内洋			9	7
5	39	○	4	栗)ヴェロキラブトル	牡3	57	6	A	注	C	B	1,14	4,1	1,4	5	33	5	西村淳	高野友	R	B	3	4
11	44	×	5	栗)シヴァース	牡3	57	5	B	注		A	6,1			12	73	17	M. デ	友道康			5	9
4	22		6	栗)ナムラエイハブ	牡3	57	8	B		D+		7,1	9,4	5,1	6	31	5	和田竜	長谷川			10	10
9	39	×	7	美)レガーロデルシエロ	牡3	57	9	B	注	C	B	2,2	1,1	9,1	4	33	4	A. ル	栗田			6	5
11	52	×	8	栗)ファーヴェント	牡3	57	1	A		B	B	4,5	4,1		64	85	60	川田将	藤原英		B	4	1
10	55	▲	9	栗)ジャスティンアース	牡3	57	2	B	△	C+		2,1	10,2		67	90	60	松山弘	杉山晴		A	8	2
2	50	×	10	栗)ブエナオンダ	牡3	57	4	A	注		B	5,2	4,1		13	75	25	武豊	須貝尚			2	11
4	28	×	11	栗)テイエムリステット	牡3	57	11	B	注	C+	A	8,7	3,1	13,1	0	0	0	酒井学	木原一			11	8
9	69	×	12	栗)ピザンチンドリーム	牡3	57	3	A	注		A	10,1			67	80	67	R. ビ	坂口智			7	6

【予想のコンセプト】

京都開催のきさらぎ賞では、直線が長いコースの1800mに勝利実績がある事が重要なファクターとなっております。

そして、今の京都外回り(1600m・1800m)では、主流血統が末脚を発揮しにくく、ダートでも走れるような米国型指向の強い血統馬に有利に働く「パワー重視」のトラックバイアスが見受けられます。

という事で、あえて人気薄のダート血統馬を馬券の中心に据えて、大物釣りを狙って参ります。

【予想見解】

◎3番ウォーターリヒト

父:ドレフォン(米ストームバード系)

母父:ヴィクトワールピサ(Tサンデー系)

牝系ファミリーは、若干ダートに傾いた適性を持ち、芝のOPクラス好走馬は、1600m~2000mを得意としております。

近親では、母の全妹レッドアネモスが白百合S(京都芝1800外)と、G3クイーンS(札幌芝1800)を勝ち、

アグネスアークは、G2毎日王冠(東京芝1800m)2着の実績があります。

前走のシンザン記念で、ブービー人気ながらも
上り最速の末脚で追込み3着に激走した事はフロックではなく、
今年のパワー重視の京都コースが合っているからだと考えます。

○4番ヴェロキラプトル

父:スワーヴリチャード(ハーツクライ系)

母父:ジャイアンツコースウエイ

祖母父:ヌレイエフ

母の兄弟姉妹5頭は、全て欧州の重賞好走馬ですが、
日本の馬場ではスピードが足りず、本馬の兄と姉は
どちらもダートで勝ち上がっております。

本馬の場合は、父の影響が強く出たようで
芝で2勝を挙げており、スワーヴリチャードは、
芝1800mが超得意な産駒を多く出す
非根幹距離種牡馬の風情が見受けられます。

スワーヴリチャード産駒「芝1800m実績」

【10・9・6・22/47】

勝率21.3% 単回率33.4%
複率53.2% 複回率101%

特にゴール前に急坂が無い1800mを得意としており

札幌・函館:複率100%

東京:複率80%

京都:複率80%

洋芝の北海道を最も得意とするという事は、
恐らく今の京都も合っていると考えられます。

★2番インザモーメント

父:キズナ(ディープ系)

母父:カーリン(米ミスプロ系)

キズナはダート適性の高い非根幹距離型種牡馬。

母父のカーリンは、ドバイワールドカップの他

米国のダートG1を6勝した「ダートの名馬」。

牝系ファミリーは、芝とダートの勝ち数が互角の

芝・砂兼用タイプの一族となっております。

芝の場合は、1800mと2200mの好走率が高く、
全兄のリビアングラスは、G2京都新聞杯(京都2200m)で
7人気3着と激走し、次走の阿賀野川特別(新潟2200)を快勝。
いかにも「非根幹ファミリー」の一員らしい実績を持っております。

重賞で通用するかどうかは、走ってみないと分かりませんが、
全兄と同程度の能力を持ち合わせていれば、G3程度なら
通用する可能性があると考えております。

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券

馬連・ワイド・3連単3頭ボックス

8番・9番・12番

くまもん馬券

馬連・ワイドフォーメーション

3・4-2・3・4・9

3連単3頭ボックス

2・3・4

3連複フォーメーション27点

3-2・4・9-総流し